

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

**文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択されました。**

このたび、本学は、文部科学省の令和4年度公募事業である「大学の世界展開力強化事業」に応募し、提案した「レジリエントな社会への変革をリードする産官学連携ヨコハマ国際教育プログラム～横浜の地域力を活用した実践グローバル教育による日印豪ブリッジング人材の育成～」が採択されました。

今後、インド・オーストラリアとの国際共修プログラムを構築し、レジリエントな社会への変革をリードし、持続可能な未来社会を創造するSX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）人材育成に取り組んで参ります。

**●大学の世界展開力強化事業とは**

日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行う事業対象国・地域の大学との国際教育連携の取組を支援することを目的として、文部科学省において平成23年度から開始された事業です。

**●取組内容**

国際的かつ分野横断型の学生チームを結成し、提示される持続可能な社会の創造に向けた課題に対して、主体的に計画を作成し双方向交流を行います。

具体的には下記①～③のプログラムに取り組みます。

- ①横浜・神奈川地区インターンシップ/インダストリアルツアー
- ②国際協働学修（関連講義、実践的ワークショップ等）
- ③共同国際シンポジウム（学生企画による成果報告セッション等）

**●期待される成果**

インド・オーストラリアの大学との質保証を伴った連携・学生交流を進め、更なる戦略的なグローバルネットワーク・パートナーシップの構築・強化を図ります。

本プログラムを通じ、本学の目指すレジリエントな社会への変革をリードし、持続可能な未来社会を創造するSX人材の育成に取り組みます。

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 学務・国際戦略部 グローバル推進課長 大西 知子

TEL 045-339-3180 E-mail [kokusai.kacho@ynu.ac.jp](mailto:kokusai.kacho@ynu.ac.jp)

学務・国際戦略部 グローバル推進課国際企画係 竹内 智子

TEL 045-339-3109 E-mail [kokusai.kikaku@ynu.ac.jp](mailto:kokusai.kikaku@ynu.ac.jp)

# レジリエントな社会への変革をリードする産官学連携ヨコハマ国際教育プログラム

＜横浜の地域力を活用した実践グローバル教育による日印豪ブリッジング人材の育成＞

**SXリーダー育成コース (学部)**  
 グローバル社会のサステナビリティ課題から事業を構想し、ステークホルダーと協働して新しい仕組みや新技術を社会実装する起業家

**SXスペシャリスト育成コース (大学院)**  
 グローバル社会のサステナビリティ課題を見出し、分野横断的に先端技術を活用して解決技術を創造する実践的研究者/エンジニア

新興国インドの成長と課題  
 ・環境負荷を著しく低減した製造業

持続可能な  
 未来社会の  
 創造

資源国オーストラリアの成長と課題  
 ・脱石炭、再生可能資源/エネルギー技術

YNUの基本理念「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」  
 中期目標「知の統合型大学」

未来の社会ニーズに応える  
 日印豪ブリッジング人材 **養成する人材像**

## 教育カリキュラム

**横浜国立大学YNU**  
 3学部・2大学院部局  
 国際戦略推進機構  
 地域連携推進機構  
 海外研修コーディネーター

企画・運営委員会  
 国際的かつ分野横断型学生チーム  
 による国際協働学修  
 18名/年の相互交流(初年度12名)

**印豪パートナー大学**  
 インド バンジャブ(Panjab)大学  
 インド工科大学カンプール校 (IITK)  
 アンナ(Anna)大学  
 ペロール工科大学 (VIT)  
 オーストラリア ニューカッスル(Newcastle)大学  
 グリフィス(Griffith)大学

### プログラムの内容

- ①横浜・神奈川県地区インターンシップ/インダストリアルツアー : 産官学ネットワーク連携による多様な受入先
- ②国際協働学修 : 関連講義、実践的ワークショップ、エコパーク訪問、共同研究ほか
- ③共同国際シンポジウムでの成果報告 : 学生による成果報告セッションの企画と発表、学術交流 **国際シンポジウム実行委員会**

### 教育の質の保証

学部 (経済、経営、理工)  
**MAB/SDGs副専攻プログラム**  
 「ユネスコ・MAB計画とSDGs」と関連コースワーク  
 ①②③のプログラム取組 (短期相互交流)  
 「MAB/SDGsグローバル化演習 I, II」  
 単位互換制度

大学院 (理工学府、環境情報学府)  
**グローバルSX副専攻プログラム (新設)**  
 「MAB Programme and SDGs (新設)」と関連コースワーク  
 ①②③のプログラム取組 (短期、中期、長期相互交流)  
 「インターシップ科目」, 「グローバル化演習」  
 単位互換制度、共同学位(DD)プログラム(VIT)

### 学生主体の取組、学生支援、オンラインの活用

学生主体活動 (ビジネスプランコンテスト, Hult Prize学内予選大会, ROUTE, 文化交流ほか), 留学生就職支援プログラム  
 DX・オンラインを活用したブレンド型学習コンテンツの活用によるコロナ対応、実渡航効果の最大化

インターンシップコーディネーター

外部評価委員会

### 横浜の地域力を活用した通学圏内の多様なインターンシップ/インダストリアルツアー アントレプレナーシップを醸成する地域の特徴

